



お茶を体験する生徒の皆さん

可児は美濃桃山陶のまち

東可児中学校で10月18日、お茶の体験授業がありました。これは「ふるさとを誇りに思う事業」の一環として市内の小中学校で開催しているものです。

今回の授業では、美濃桃山陶の魅力を多くの人に知ってもらいたいと、8月に株式会社佐藤陶芸（平戸）から寄贈いただいた400個の抹茶茶碗の一部を使用。参加した生徒は「重たい茶碗を持つのは緊張したけれど、楽しい」と笑顔で話してくれました。

車いすでバスケットボールに挑戦！

広見地区センターで10月20日、車いすツインバスケットボール中学生大会を開催しました。この大会は障がいや障がい者スポーツに対する理解を深めようと、平成7年度から実施しています。市内5つの中学校と社会人チーム「岐阜エクスプレス」の選手らおよそ90人が参加しました。

練習では初めて乗る車いすの操作に戸惑っていた生徒も、いざ試合が始まると迫力とスピード感あふれるプレーを見せ、会場は熱気に包まれました。



試合の様子



寄付を受け取る可茂地域の市長村長ら

住民を守るために使ってほしい

11月2日、めぐみの農業協同組合によるアルミ保温シートの寄付贈呈式が行われました。管内の全13市町村に2万枚が寄贈され、可児市には5,000枚が贈られます。

同組合とは、2011年に相互応援協定を結んでおり、防災対策に取り組んでいます。

今回贈られたシートは市内の避難所に置かれ、災害時には布団や防寒具として活用します。

日本一の可児市民！

9月～10月に行われた「福井しあわせ元気国体」の各種目で優勝した3選手が富田市長へ喜びを報告しました。

渡辺正浩さん（八百津高教諭、カヌー競技成年男子ワイルドウォーターカヤックシングル）は6年ぶりに優勝。小栗麻莉乃さん（帝京可児高2年、馬術競技少年ダービー）は初の国体出場で減点0の初優勝。川畑庄さん（東濃高3年、ウエイトリフティング競技105kg超級スナッチ）は3度目の国体出場で念願の初優勝。

これからもみなさんの活躍に期待しています！



左から渡辺正浩さん、小栗麻莉乃さん、富田市長、川畑庄さん

富田成輝さんが3選

任期満了による可児市長選挙が10月28日に行われ、現職の富田成輝さんが3選を果たしました。翌日には市役所正面玄関で大勢の職員らに迎えられながら笑顔で登庁。花束を受け取ると「選挙期間中、市民から職員に対するお褒めの言葉をたくさんいただき嬉しかった。これからも一緒に頑張ろう」と話しました。

当選証書付与式後のインタビューでは、今後の市政運営について「選挙中に多くの人から直接声を聞き、新たな課題もみえてきた。公約したことはもちろん、出来ることから進めていきたい」と意気込みを語りました。

市長の任期は11月7日からの4年間。引き続き「住みごこち一番・可児」を目指して、10万市民の負託にこたえていくことになります。



職員から花束を受け取る富田さん



当選証書付与式の様子



感謝状を手にする国際ソロプチミスト可児の皆さん

マーノで本を楽しもう

10月17日、子どもの健全育成や女性の地位向上などに取り組む国際ソロプチミスト可児から、100万円相当の書籍の寄付を受けました。これは2020年に同団体の設立20周年を迎える記念事業の一環として贈られたものです。

本は子どもから大人まで楽しめるものや、タガログ語やポルトガル語などに対応するものなど719冊。「中央児童センター にこっと」や「みんなの書齋」などに置かれ、多世代・多文化の交流が期待されます。

連携して全国に PR

岐阜県大河ドラマ「麒麟がくる」推進協議会の設立総会が、10月18日に岐阜県庁で行われました。可児市が生誕の地とされる武将・明智光秀を県下ゆかりの資源とする県・市町・観光関連団体が一体となった取り組みを推進していくことが確認されました。

ドラマのストーリーを体感できる大河ドラマ館については、可児市・岐阜市・恵那市が設置することを表明しました。



協議会の様子